



碧南ロータリークラブ週報

第2928回例会 令和元年10月9日(水)

- 会長 伊藤 正幸
- 幹事 黒田 泰弘
- 会場監督(SAA) 永坂 誠司

2019-2020 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 鈴木きよみ・林 俊行・平松則行・石川鋼勇

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

地区米山記念奨学委員会 委員 大橋さなえ様 (名古屋名南RC)
米山奨学生 学友 ジャリロブ アクバル様

●本日の卓上花

リンドウ、ハブチャ

会 長 挨拶

こんにちは。大変良い天気でございますけれども、また台風が来るかと思うと気が重くて、お手元にもご案内しておりますけれども、私の不徳の致すところでございます。

先だつての10月1日に行われました伊藤靖祐ガバナーの公式訪問では、皆様のご協力によりまして恙なく開催されましたことをまずもって感謝申し上げます。ガバナー公式訪問当日は11時30分から、ガバナー、地区幹事、会長、幹事による懇談会が開催されまして、ガバナーと地区幹事よりそれぞれご提言、ご意見をいただきました。ガバナーからは特に今回の規定審議会での出席規定の改定についてお話をいただきまして、各クラブで柔軟に対応していただきたいということがございます。卓話でもお話をいただきましたけれども、会員増強について2760地区は今年度の始まりが4,817名ということで、何とか会員数5,000名にしたいとガバナーはおっしゃっておりまして、各クラブ純増2名ということでお話をいただきました。また、世界大会では女性



伊藤正幸会長

の活躍が目立つということで、女性会員を増やしてほしいというお話もございました。

例年ですと、ガバナー公式訪問の次の週は IM ということでございましたけれども、お詫びを申し上げなければなりません。3月に PETS が開催されました折に西三河分区 9 クラブの会長とガバナー補佐と地区幹事で会議が行われました。その会議で WFF にて西三河分区 9 クラブが例会を開催しようということになりまして、私共碧南 RC も WFF で例会を開催することにさせていただいた訳でございますけれども、昨夜、ガバナー事務所より台風 19 号の影響で WFF を中止するというお知らせが入りました。後程、幹事からもご案内致しますけれども、お詫びを申し上げたいと思います。

今月は米山月間ということになっております。地区米山記念奨学委員会から大橋様、そして、学友のジャリロブ アクバル様にお越しいただきました。ようこそお越しくださいました。ご承知の通り、日本のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、1952年に東京 RC が奨学制度を設立したということでございまして、ロータリー米山記念奨学会の始まりがそこからということになります。今年度で 67 年が経ちまして、7 月 1 日現在で 869 名が奨学金を受け、累計は 21,024 名、そして、国別学友の累計では中国がトップで、続いて韓国、台湾となっているようでございます。将来、母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とする外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体ということでございまして、着実に成果を上げていると拝察しておる訳でございますけれども、学友数トップの中国の香港のデモや現在の韓国の日本への対応などを鑑みますと、色々と考えを及ぼすということになる訳でございますけれども、だからこそ継続が力であるということを感じる訳でございます。ロータリーの友の今月号に特集がございまして、奨学制度の着実な歩みが述べられております。

漫才師の内海桂子師匠が、ラグビー日本代表が君が代を歌っている姿を見て、この国歌も勢いのある歌であることを認識したというふうに言っておられました。特に外国人選手が一緒になって口をしっかりと開けて歌っている姿は、これから起こる激戦に臨む覚悟がよく伝わってきて素晴らしいとのことでございます。私も今回の豊田スタジアムで行われた試合をテレビで見えておりました。現地で見られた方もいらっしゃると思いますけれども、スタジアム全体に轟く君が代斉唱は目頭が熱くなりました。9 月 25 日の例会で長田会員からレクチャーを受けまして、ラグビーの面白さが初めてわかりました。ありがとうございました。日本代表のわかファンになりました。13 日のスコットランド戦の勝利を願いまして、挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 4 回の理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 例会変更のお知らせも幹事報告書の通りでございます。



黒田泰弘幹事

- ・ 本日もたくさんの配布物がございますのでお目通し願いますが、その中で「ロータリー女性の集い」というチラシが入っていますが、11月27日の例会日と重なりまして、時間も15時からということで早退して行かなければいけないかなと思われます。行かれる方は事務局にご相談をお願いします。
- ・ 今週の土曜日に開催が予定されておりましたWFFが中止となりました。雨天決行の行事でしたので、まさかの事態に会長も私も大変残念に思っております。早い決断の理由は大変多くのお子様参加の行事の為というのが最大の理由だそうです。尚、チケットの払い戻し等は運営側より、後日事務局にご連絡いただけるということなので、決定後お知らせをさせていただきます。チケットをお持ちの方はそれまで大切に保管をお願いしたいと思います。12日は例会扱いの為、既にメイクアップされている方は事務局にご相談ください。また、その他の欠席予定の方はメイクアップの必要はなくなりましたので、ご承知願います。
- ・ 来週の16日はスケジュール通りの休会となります。
- ・ 23日の例会終了後に歴代会長会議を開催致しますので、ご案内のメンバーの皆様はよろしくお願ひ申し上げます。
- ・ 本日、千葉県台風15号の災害義援金のボックスを回ささせていただいております。2回に亘りお返ししますので、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。
- ・ メールボックスにお配りしてあります日本のロータリー100周年記念バッジは、伊藤会長より皆様へのプレゼントですので、どうぞご活用ください。
- ・ 本日の例会終了後に第1回の次年度指名委員会を102号室で開催致しますので、メンバーの皆様はよろしくお願ひを申し上げます。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65名 (内出席免除者 15名の内出席者 11名) 出席者 51名	
出席対象者 51/61名	出席率 83.61%
欠席者 14名 (病欠者 0名)	

<ニコボックス>

地区米山記念奨学委員会 委員 大橋さなえ様 今日卓話、よろしくお願い致します。

伊藤 正幸君 } ガバナー、地区幹事をお迎えしての高浜RC合同例会も、皆様のご協力のもと無事終了する事が出来ました。ありがとうございました。

杉浦 保子君 }

黒田 泰弘君 }

山中 寛紀君 本日の卓話講師大橋さなえ様とジャリロブ アクバル様を紹介させていただきます。今月の米山月間、皆様よろしくお願ひします。

先日、黒田幹事さんにお世話になりました。

- 栗津 康之君 孫が生まれました。
- 鈴木 泰博君 よい事がありました。木村様ありがとうございました。
- 杉浦 秀延君 第74回国民体育大会（茨城県開催）ビーチバレーボール種目少年男子の部愛知県代表として、母校愛知県立碧南工業高等学校生田・詫間ペアが出場し、47都道府県中第4位入賞しました。球技での全国ベスト4は学校創立以来初めてです。よく頑張ってくれました。
- 杉浦 邦彦君 9月19日（木）に開催しましたRCゴルフコンペにて人生初のホールインワンをやってしまいました。御一緒して頂きました、杉浦勝典さん、藤関孝典さん、奥津順司さん、本当に有難うございました。優勝もしちゃいました。記念コンペも考えています。宜しく申し上げます。

クラブフォーラム

「ウズベキスタンの未来と共に！」

地区米山記念奨学委員会 委員 大橋さなえ様



大橋さなえ様

皆さん、こんにちは。高い所から失礼致します。只今ご紹介いただきました名古屋名南RCから出向して参りました大橋でございます。よろしくお願い致します。このような大変貴重なお時間をいただいたこととても感謝しております。また、日頃から米山記念奨学事業に対しまして、温かいご理解と深いご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。また、碧南RC様におきましては、毎年多額なご寄付をいただきまして、心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

皆様ご承知おきのように米山記念奨学事業は、米山奨学生の支援団体として、先程会長もおっしゃいましたように民間最大の国際親善事業として発展して参りました。本来は国がやるべきことを民間の力、いわゆる私共ロータリアンお一人お一人のご寄付によって成り立っております。本当に誇らしいことだと思っております。世界平和、世界親善、米山記念事業は本当に大きな課題を掲げております。それを世界の人々に理解してもらうために一人でも多くの留学生を受け入れ、平和を願う日本人と出会って信頼関係を作っていく、これこそが国際親善事業だと思っております。

これから卓話をしていただきますアクバルさんのことをご紹介する前に今所属しております学友会のことを少しお話しさせていただきます。現在、学友会は国内で33、海外で9カ国に設立しておりますが、ウズベキスタンにも学友会を作ろうという話が出てきております。学友会の現在の人数は約3,000人おります。学友会は私たちの思っていることを的確にやってくれます。東日本大震災の折には、約760万円の寄付をしてくださいました。そして、その寄付の金額の総累計は3,400万円にも上っております。ですので、私たちがやってきたことをちゃんと忘れずにいざという時に立ち上がってくれます。これは本当にありがたく嬉しいことでございます。アクバルさんの学友生としての今後の活躍を本当に楽しみにしております。

それでは、アクバルさんの略歴をご紹介します。アクバルさんはウズベキスタンの首都のタシケントの出身です。ウズベキスタンのファイナンス大学を卒業されました。卒業後、5年間会計士として働いて見えました。その後、2015年に日本に来日され、約2年間日本語学校で日本語を勉強されました。そして、2017年に名古屋経済大学大学院 修士課程に入学され、2019年に卒業されました。2019年の4月から名古屋経済大学大学院 博士課程に入学されており、現在に至っております。

以上をもちまして、アクバルさんのご紹介になります。皆さん、これからもよろしく願い致します。ありがとうございました。

米山奨学生 学友 ジャリロブ アクバル様

皆さん、こんにちは。今日の例会に招待していただきまして、誠にありがとうございます。大きな目標を持っていて、海外から来た学生をサポートしているロータリアンの方々に心から感謝致します。私は1年間、名南 RC でお世話になっておりまして、たくさんのロータリアンの方とお会いすることができました。様々なイベントにも参加させていただきました。また、様々な異文化にも触れることができました。



ジャリロブ アクバル様

今日の流れですが、まずは私がどうして日本に来たのかという理由をお話しさせていただきます。その後はウズベキスタンについてお話しさせていただきます。

私がどうして日本に来たかということ、大学で勉強している時は経済学部でしたので、色々な国の経済について勉強したことがありました。その時に日本の平成時代の始まりぐらいに世界のトップ 20 の大企業の中で、14 社ぐらいが日本の企業でした。私はその理由を本などで調べてみましたが、確かめることができませんでした。それが理由で日本の経済を勉強したかったので、日本に留学したいと思いました。そして、日本の経済と社会を勉強するために5年間会計士として働いて、留学するための貯金をしまして、2015年の4月に留学することができました。現在は名古屋経済大学大学院 博士課程の1年生として、日本の経済はもちろん、日本の社会のことも勉強しております。

次にウズベキスタンについてお話しさせていただきます。皆さん、ウズベキスタンはどこにあるかわかりますか。日本の方でウズベキスタンの場所がわかる方は、自分的には少ないかなと思っています。ウズベキスタンは中央アジアの真ん中辺りにあり、周りにはスタンという名前がつく国がたくさんあります。ウズベキスタンの人口は約 3,300 万人いまして、面積は日本の約 1.2 倍です。GDP は約 487 億ドルで、1 人当たりの GDP は約 1,504 ドルということで、まだまだ発展途上国であると思います。

主な産業としまして、綿繊維、食品加工、機械製造、鉱業などがありますが、農業で働かれている方がたくさんいます。

現在、日本からウズベキスタンへはどうやって行くかというと、成田からの直行便、名古屋

屋から韓国を経由してウズベキスタンとなっていて、直行便は8～9時間掛かります。名古屋からだと14時間ぐらい掛かります。

首都のタシケントには、有名なホテルなどがあります。また、日本には無いような地下鉄がありまして、世界的にも非常にきれいで、観光地の1つとなっています。

ウズベキスタンはバザールという所で野菜と果物を買うことができます。日本ではあまり見ることができない所かなと思っています。例えば、スイカは日本だと2,000～3,000円掛かりますが、ウズベキスタンだと約100円で買うことができます。非常に大きくて美味しいので、ウズベキスタンに行く機会があれば是非食べていただくことをお勧めします。日本ではお米を主食としていますが、ウズベキスタンはナンを主食としています。地域によって形や作り方が違ってきます。

私が生まれた所は田舎でして、携帯も使うことができないし、インターネットもテレビも見ることができません。現在は段々良くなってきていますが、生活に困っている人が非常に多いかなと思います。

以上をもちまして、終わりたいと思います。ありがとうございました。

次回例会案内

令和元年10月30日（水）卓話

刈谷税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 高本俊哉氏